

	新潟市教育委員会 平成19年1月 定例会会議録			
日 時	平成19年1月22日(月) 午後3時00分			
場 所	市役所 白山浦庁舎 5号棟4階会議室			
出席委員 (5名)	高 山 委員長	欠席委員		
	山 田 委 員			
	小 池 委 員			
	佐 藤 委 員			
	佐 藤 教育長			
会議に出席 した職員 (25名)	職・氏 名		職・氏 名	
	学校教育部長	西 山 耕 一	小 須 戸 教育事務所長	田 沢 広 一
	生涯学習部長	佐 藤 信 幸	横越教育事務所長	神 田 弘
	教育政策監	手 島 勇 平	亀田教育事務所長	石 澤 正 明
	総務課長	斉 藤 仁	岩室教育事務所長	山 上 光 男
	学務課長	遠 藤 良 二	味方教育事務所長	星 野 昭 生
	施設課長	関 尚 久	潟東教育事務所長	田 辺 範 男
	教職員課長	川 端 弘 実	月潟教育事務所長	瀧 澤 龍 顕
	学校指導課長	伊 藤 充	巻教育事務所長	広 木 建
	保健給食課長	片 田 幹 博		
	生涯学習課	八 木 秀 夫	総務課長補佐	吉 崎 熊 勝
	体育課長	高 井 琢 平	総務係長	岩 本 正 雄
	新津教育事務所長	丸 山 茂 樹	総務課主事	山 際 幸 太
	白根教育事務所長	櫻 井 文 一		
豊栄教育事務所長	伊 田 千 代 子			
その他の 出席者 (名)				

開会	時 刻	午後 3時00分
	宣 言 者	委員長
選挙	議案番号	件 名
付議事件 (1件)	議案番号	件 名
	議案第35号	新潟市教育委員会への事務委任の解除について
	議案第36号	通学区域の一部変更について
	議案第37号	情報公開に係る不服申立てに対する決定について
	議案第38号	新潟市学校給食センター条例施行規則の一部改正について
報告 (4件)	記 号	件 名
		一貫教育・一貫校検討委員会について
		成人の日のつどいについて
		新潟市亀田あけぼの会館指定管理者選定委員会の結果について
		米飯給食の拡大について
その他 ( 件)	記 号	件 名

## 第1 開会宣言

委員長 午後3時00分開会を宣言する。

## 第2 会議録署名委員の指名

委員長 小池，佐藤両委員を指名。

## 第3 付議事件

委員長 議案第35号を上程，説明を求める。

総務課長 新潟市教育委員会への事務委任の解除について，資料に基づき説明。

### 【説明概要】

市長部局から事務委任を受けて教育委員会が行っていた都市公園体育施設等の公の施設の管理及び運営について，来年度から市長部局へ移管するため，事務委任を解除する。

委員長 質問，意見を求め，全員異議なく可決する。

委員長 議案第36号を上程，説明を求める。

新津教育事務所長 通学区域の一部変更について，資料に基づき説明。

### 【説明概要】

新関中学校の廃止に伴い，新津第五中学校の通学区域の一部を変更することについて説明。

委員長 質問，意見を求める。

佐藤委員 登下校には支障はないのでしょうか。

新津教育事務所長 この統合にあたりましては地域の方々と安全な通学を前提条件としてお話をさせていただいております，通学バスの運行を原則として考えております。

委員長	新関中学校は創立から何年になるのですか。
新津教育事務所長	約60年になります。
委員長	ほかに質問，意見を求め，全員異議なく可決する。
委員長	議案第37号を上程，説明を求める。
学校指導課長 総務課長	<p>情報公開に係る不服申立てに対する決定について，資料に基づき説明。</p> <p>【説明概要】</p> <p>教科用図書に関する選定委員会議事録及び教育委員会議事録の情報公開請求の非公開決定に対する不服申立てに対する決定案について説明。</p>
委員長	質問，意見を求める。
山田委員	選定委員会の委員は，自分の発言が公開されることを承知して発言しているのでしょうか。
学校指導課長	公開については明確にしないで会議を開催しておりますが，従来から委員の個人名は公開していませんので，それは委員の方々は承知をしております。したがって委員の方々は今後も公開されないという認識で発言されているだろうと思います。それについては情報公開・個人情報保護審査会へも申し述べております。
山田委員	そのうえで審査会のほうでは公開したほうがいいのかという指摘であったわけですね。
学校指導課長	はい，そうです。
小池委員	教科書採択に関しては，特定の教科書を採用してほしいという働きかけがこれまでもあったわけですね。自宅に尋ねてくるとか，電話がくるとかありましたので，発言の内容が分かると，こういう発言をした方だからこういう働きかけをしようという，そういう圧力が増えてしまう可能性があるということで，公開しないほうがいいのかということがありました。

採択が終った後と言っても、次の選定にも同じ教育委員が関わるわけですので、そういう趣旨でここでは話をしたと思うのですが、そのうえで審査会では公開すべきであるという答申が出されたということであれば、それを受け入れていいのではないかと思います。ただ、名前が公開されないことによって公共の利益が損なわれるという部分は、どういうところで損なわれるのか不明だと思ったのですが。

**学校指導課長**

それにつきましては9ページをご覧ください。上から5行目ですが「教科書選定という重要な事業は市民の理解の下に手続きが進められるべきである。議事録の発言者名が非公開とされれば、かえって市民の間に職務遂行の公正性への疑惑が生じ、市民の教育行政への信頼が失われる結果となるおそれがある」ということがその理由であります。

**山田委員**

選定委員は公開されないことが前提となっているのに、何のこともわりもなしに公開していくことは、問題があると思います。依頼するだけしておいて、こういうことになるとすぐ公開してしまうということでは不信感を持つと思うのですが。

**委員長**

不服申立人は個人ですか、団体ですか。

**学校指導課長**

個人です。

**委員長**

山田委員からご指摘のありましたように、たしかに選定委員会の方は公開されないという立場で発言されていたと思います。審議会の答申は尊重したいと思いますが、選定委員に公開になることをきちんと説明して了解を得ていただきたいと思いません。

**学校指導課長**

選定委員には丁寧に説明していきたいと思えます。

**委員長**

新潟市情報公開・個人情報保護審査会の答申どおりとすることについて確認し、全員異議なく可決する。

**委員長**

議案第38号を上程、説明を求める。

**保健給食課長**

新潟市学校給食センター条例施行規則の一部改正について、資

	<p>料に基づき説明。</p> <p>【説明概要】</p> <p>新津第五中学校と新関中学校の統合により，別表から新関中学校を削除する。</p>
委員長	質問，意見を求め，全員異議なく可決する。
第4 報告	
教職員課長	<p>一貫教育・一貫校検討委員会について，資料に基づき報告。</p> <p>【報告概要】</p> <p>1月17日の第4回検討委員会の会議内容，検討委員会報告(素案)について報告。</p>
委員長	質問，意見を求める。
山田委員	素案のほうで，まず小中一貫校等のところですが「整備について検討していく必要がある」と，これは小中一貫校をつくる・つukらないというところを含めて検討するという意味ですね。
教職員課長	中1ギャップ等の問題を考えたときに接続の問題をもう少し別の機会に分けて丁寧に検討していく必要があると言っているところであります。
山田委員	この部分では「整備について検討していく必要がある」と言っていますよね。小中一貫校を考えていく，それが先にあるような感じを受けましたので質問したのですが，そうではないのですね。連携という観点でもう一度小・中を見てみよう，そして一貫校が必要かどうかという検討も含めていくという意味ですね。
教職員課長	はい，そういう意味です。
委員長	それは幼小も一緒ですか。
教職員課長	はい。ただ幼稚園が11園しかない関係で，それが一定の地域でしかできません。
山田委員	中高一貫校のところでは，「全国では，197校が設置され，19

	年度以降に41校の設置が予定されている」とありますが、政令市ではどうですか。
教職員課長	政令市だけのデータはありません。
委員長	新潟らしさが足りないという指摘が何点かありますが、これについてはどう受けとめていますか。
教職員課長	私共としては色々なところに新潟という部分を入れているつもりなのですが、外に向けたアピールという面で新潟らしさが見えにくいということは感じていますので、工夫をしていきたいと思えます。
佐藤委員	新潟らしさについて委員の皆さんは具体的にどういうふうに思っているのですか。
教職員課長	例えば新潟県の中にいくつか中等教育学校がありますが、このまま出すと中身をよく見れば新潟というのが分かるのですが、外向けの表現でぱっと見て新潟かどこか分からない。言葉として外へ出してアピールしてみてもどうかと言われております。
小池委員	その点に関しては、もともと難しいと思えます。政令市になるから中高一貫校が必要だという論理がそれほど強くないと思えます。ですから特徴を出しづらい、県立の中高一貫校であっても新潟市の中高一貫校であっても同じような目的で同じように新潟市の子どもたちを育てるという意味なので、新潟市だからといって違った教育をするということではないわけです。市でつくるわけですから何らかの新潟らしさを出そうというのは当然ですが、それほど大きな特徴は出せないのではないのでしょうか。
佐藤委員	私もそう思います。色々な議論の中で新潟らしさが無いじゃないかということがありますが、新潟らしさとは何ですかということどなたも答えることができないんです。新潟らしさということにあまり囚われてしまうと構想が小さくなるので、あまり新潟らしさに囚われる必要はないのかと思えます。
小池委員	この報告書ですが、構成とか文章が一般市民から見ると非常に

長い。もう少しコンパクトにできないのかと思います。同じような文言がページを変えたり、少し前に書いてあったことがもう一度繰り返されたりというのがあまりにも多くて、かえって分かりにくいということがあります。それから新潟市の教育委員会としては今この中高一貫校について、どう理想的な教育をここで実現するかということを考えているのですが、一方で検討委員の方から出たように、あまりここだけを突出しないで、全体を考えなくてはいけない、それを忘れてはならないと思います。学力選抜はしないとは言いながら、やはり選抜するわけです。そうするとどういう基準で選ぶかはこれからにしても、エリートになってほしい子どもたちを入れるということになると、その他の部分は周辺の中学・高校に担ってもらわなければいけない。むしろそちらのほうに対等に競争せよと言ったら不公平はわけです。色々な選択肢が発生することによって多様な教育が実現できるとは言っても、やはりある意味でエリートをつくらうということを目指すのであれば、その他の周辺の学校には負担がかかることを前提に考えて、むしろそちらのケアをしっかりとしないとはいけないということを教育委員会としては忘れてはならないと思いました。それから「未来を創る」、「自己を鍛える」、「社会に生きる」というテーマを作っていただきましたが、逆に分かりにくいという気がしないでもないのですが。何とか新しいイメージが湧くフレーズを考えられたのだと思います。むしろ貢献、自立、共生と言ったほうが分かるような気もします。それから「新潟らしい教育のできる環境として市民がボランティアなどとして学校教育に参加しやすい仕組みづくりが大切と考える」という意見が出ていますが、これもひとつですが、発想を変えて学校が地域社会にどれだけ貢献できるかということを実践する、周りの人に学校に来てもらって奉仕するというと同時に学校が外に出て行って地域に奉仕するという実践するという発想でやっていただけたら地域との協働も成り立つのではないかと考えます。校舎は高志高校の校舎を利用するにしても、新しい感覚の学校をつくるということだけは、新しい学校をつくるという気持ちでやっていただきたい。「異文化を理解し、異なる習慣や文化を持った人々と共に生きる態度を育てる」というところでは、ぜひ教室で英語を勉強するだけでなく、英語を使うチャンスを作っていくということで、留学生の受入れを積極的にやっていただきたいと思います。



**山田委員**

素案の 8 ページに中高一貫校の課題，中高一貫校導入への配慮とありますが，子どもたちが来なければ困るわけです。逆に来すぎて困るんだらうと，その分かれ目はどう P R するかになるのだらうと思うのですが，P R すればするほど普通の中学校ではだめですということにならないかと，そこが一番心配です。最初に中高一貫校の話が出たときにもお話しましたが，中学校の教育の底上げのために中等教育学校ができるというならばいいけれど，普通の中学校へ行っても意味がないということにならないよう，P R をするときには十分配慮していかないと，ここで「適切な選択がなされないおそれがある」とありますが適切な選択がなされるとはどういうことなのか，非常に難しい問題だと思っています。要するに中学校も中等教育学校もそれぞれ生きるようなかたちで学校のガイダンスをしていかないと片手落ちになるような気がします。教育課程についてはよく考えてできていると思います。

**小池委員**

リーダーを養成するという言葉が出てきますが，一般的なイメージではリーダーというと，学力が高く進学して偉くなる人というような。でもリーダーというのは色々なタイプのリーダーがいて，地域社会の様々な行事や奉仕活動の中にもリーダーがいるわけですね。ですからリーダー イコール 進学ではないという，進学しないけれども社会のリーダーとして育つ人たちを育てるという視点も持っているんだというメッセージは送っていただきたい。

**佐藤委員**

関連してですが，保護者の皆さんにいい大学に進学するひとつのステップみたいな感覚で捉えられると，やっている事が違うじゃないかということがあると思います。ですから保護者の方へも中身の教育をやっていただいて保護者の理解のうえでこの中高一貫校を推進していくことを是非やっていただきたい。

**委員長**

普通科ですよ。

**教職員課長**

普通科タイプということでコース設定も含めてということですよ。

**委員長**

どういうコースがあるのですか。

教職員課長	これから検討する中で特色を出すようなかたちにしていきたい と思います。
高山委員	今小池委員が言われてとおりこの学校を卒業したら立派な社会 人になれるというコースから新潟らしさというものが出る、受 験のための学校だけですよという新潟らしさなんか出せない と思います。普通科タイプということでその辺に新潟らしさを出 そうと思えば出せるのではないかと思います。
委員長	直江津が偏差倍率2.63倍と結構ありますが、そこはどうい うコンセプトでできているか分かりませんが、何か上越らしさ というものがありますか。
学校教育部長	先ほどの話で出てきたように上越らしいということを相当意識 しましたが、考えていけばいくほど難しいということで、私が いたときには明確な答えは出ていませんでした。
委員長	各委員から色々なご意見が出ましたので、これを参考にしてい ただいて、新潟に本当に中等教育学校をつくってよかったな という学校ができることを期待しております。
生涯学習課長	成人の日のつどいについて、資料に基づき報告。 【報告概要】 1月8日に開催した成人の日のつどいの実施状況について報 告。
委員長	質問、意見を求める。
山田委員	ビデオはそれぞれ中学校を網羅してますので見ている人は自分 の学校だという話になるので、良い企画だったと思います。
委員長	大変大きな会場なのですね。以前に講演を聞きに行ったことが あるのですが、後ろのほうは顔が完全に見えません。そうす ると中央にスクリーンを置いてくれたのですが、そうすること によってかなり参加しているという感じが出るのですが、予算の 問題もあると思いますので、可能であれば工夫をしていただ ければと思います。

生涯学習課長	新潟市亀田あけぼの会館指定管理者選定委員会の結果について、資料に基づき報告。 【報告概要】 指定管理者の選定結果について報告。
委員長	質問、意見を求める。
委員長	指定管理者の候補者の概要について質問。
生涯学習課長	会社の概要を説明。
保健給食課長	米飯給食の拡大について、資料に基づき報告。 【報告概要】 米飯給食の状況、今後の取組み等について報告。
委員長	質問、意見を求める。
山田委員	米の品種を混合しているところとしていないところと、これはどこで決まるのですか。
保健給食課長	仕入れ先の違いなどによります。
佐藤委員	残食の減少とありますが、米飯給食をすると残食が増えるのですか。
保健給食課長	必ずしも米飯だから残食が多いということでもありませんが、献立を工夫して残食を減らしたいと考えております。
佐藤委員	残食については、食育という観点からも考えていく必要があると思います。
委員長	米飯とその他では、子どもの好みはどうか。
保健給食課長	残食は混ざってしまいますので明確ではないですが、米飯でもカレーのときとご飯のときで残食が違ったり、野菜を使ったものが多かったりという状況があります。

**委員長** 米飯の回数増とありますが、きれいなものを無理やりしても意味がありませんので、その辺は子どもの様子を見ながらやっていただきたいと思います。

**保健給食課長** 十分検討してやっていきたいと思います。

**委員長** 経費的には米飯はどのようなのですか。

**保健給食課長** パンと比較すると高いです。

**委員長** 経費や子どもの嗜好を総合的に考えて米飯の回数をどうするのか検討していただければと思います。

## 第5 次回日程

**委員長** 次回の日程について説明を求める。

**総務課長** 2月定例会は2月15日(木)午後2時から、3月定例会は3月16日(金)午後2時からでお願いしたい。

**全委員** 全員異議なく了承する。

## 第6 閉会宣言

**委員長** 午後4時30分、閉会を宣言する。

以上、会議のてん末を承認し、署名する。

署名委員

署名委員